

永原学園地域子育て支援センター  
**さんこう・ほぼらだより**  
令和6年10月発行・第210号  
認定こども園西九州大学附属 三光保育園  
TEL:0952-31-6877

## 10月と11月の「子育て支援事業」のお知らせ

### ①実施日

- ・10月8日(火)・10日(木)…芋ほり体験
- ・10月21日(月)…なかよしミックス
- ・10月22日(火)…赤ちゃんの日
- ・10月23日(水)・25日(金)・28日(月)…フリーデー
- ・10月24日(木)…ベビーマッサージ講座(先着5組)
- ・11月11日(月)…なかよしミックス
- ・11月13日(水)…赤ちゃんの日
- ・11月14日(木)…高木瀬あいあいサークル
- ・11月21日(木)…環境講座(エコプラザ)
- ・11月25日(月)・26日(火)・27日(水)…フリーデー

### ②時間:10時~12時

### ③開催場所:子育て支援センター・運動場

### ④駐車場:三光保育園駐車場

※三光幼稚園の駐車場と間違わないようお願いします。  
くすくすパン屋さんとファミリークリニックの間の道を南側に入って頂くと、左手に三光保育園があります。

### ⑤申し込み方法:電話予約

10月分の申し込みは、10/1(火)~9時半~17時です。

11月分の申し込みは、11/1(金)~9時半~17時です。

※赤ちゃんの日は兄弟児の参加はご遠慮下さい。

★様々な状況により計画の変更や中止が予想されるため、お出かけの前に必ず、ホームページで**支援事業の有無をチェック**してください。**子育て支援のラインアカウントがありますので、ライン登録をさせていただくのが、一番お勧めです。**

## 「自然体験:芋ほり」にいきます!

日時:10月8日(火)10:00~12:00 (先着15組)

10月10日(木)10:00~12:00 (先着15組)

### 2・3歳児さんがお申込みいただけます

※詳しくは、予約時のお電話でお知らせします。

HPにも詳しく載せています。

(金立公民館に、現地集合・現地解散です。)

(10/1 9:30から電話予約開始です。※先着順です!)

## ☆子どもに伝えたい伝統行事 ☆

9月17日は、幼稚園の一斉園内放送を使って、十五夜のこと、そして、前日も夜空の月がとってもきれいで、感動したことを伝えました。翌日、担任宛に「親子で雪見大福を食べながら月見をしたこと」「お団子を作って月見をしたこと」等々のエピソードが多数寄せられました。とても嬉しいできごとでした。あいにく見逃して悔しがる職員には、10月15日の十三夜のことを伝えました(^^)。

園では、その後も、廃材を使ってお団子を丸める子どもやススキを作る子どもの姿がありました。秋の夜空は本当にきれいです。親子で眺めるひと時があるといいなあと思います。

幼児教育施設は、特に日本の伝統行事を体験させることを大切にしています。その行事に関連して、折り紙を折ったり、絵本を読んだりしてイメージを膨らませ、歌ったり絵画で表現したりして楽しんでいます。

佐賀市では、来年度の入園申し込みの時期がきました。どの園でも、大切にしていることがあります。是非、説明会等ではその保育についてお尋ねして見られるとお子様の体験が豊かなものになると思います。

(三光保育園 園長)

## ♪育児相談・食育相談をしています♪

三光保育園及び三光幼稚園では、育児・食育相談を受け付けています。お気軽にお申し込み下さい。

※毎月第3火曜日の14時~16時までは、西九州大学短期大学部教員による、食育相談を行っています。事前にお電話でお申し込みの上、ご利用下さい。

(受付時間:平日の9:30~17:00まで)

さんこう・ほぼら(園庭を含む)開放の時間帯について

【開園日】〇月~金(祝祭日・お盆・年末年始を除く)

【時間】 〇9:00~12:30、13:30~16:00

※12:30~13:30 昼休み・準備の為閉園

### 【お知らせ】

※熱中症指数が高い場合は、安全上中止します。

※園行事の為、ご利用できない場合があります。

※出前支援の場合は、担当職員が不在になります。

※ご希望の場合は電話でお問い合わせください。

## 「シニアサロンほぼら」

子育て支援センター「さんこうほぼら」では、月に1回地域の方にお越し頂き楽しいひと時を過ごしています。

お茶とお菓子を頂きながら、おしゃべりや物づくりを楽しみませんか?

日時:10月29日(火)花の苗植え

11月18日(月)おにぎらず作り

## 寄稿：西九州大学・西九州大学短期大学部の窓から

### 子育て便り

#### アスリートとあそび

スポーツ健康福祉学科・准教授・市川浩

日々の暮らしや意思伝達、スポーツなどの活動のために、われわれは多種多様な身体運動を行います。この多くの運動パターンの基本となる動きのことを「基本動作」といいます。幼児期にできるようになる基本動作は、立つ・這う・跳ぶ・つかむ・回る・持つ・投げる・…などなど84種類にも分類できるそうです。こんなにたくさんの動きを大人が1つ1つこどもに教えることはなかなか大変ですし、きっとこどももそんなには付き合ってくれないと思います。日常生活を送ることで身につく動きもありますが、あとは「あそび」の中でこどもたちが自由に楽しく身に付けていくことが自然な流れだと考えます。幼児期以降になるとこれらの基本動作を組み合わせたり、それぞれの動きを洗練させたりすることで、より高度な運動ができるようになっていきます。ただ走るだけでなく鬼ごっこで他者を追いかけてながら走るようになるわけです。かっこいい動きや巧みな動きができるようになるためにも基本動作が必要となるわけですが、転びそうになったときに素早く一步を踏み出すことで転倒を回避したり、上手に手をついて顔や頭のケガを避けたりするためにも重要になってきます。

ヒト以外の動物の中には生後間もなく見たり立ったり歩いたりできるものもいます。つまり生まれつきできることがあるわけです。しかしヒトは生まれてしばらくの間は、自分だけではほとんど何もできません。生後学習することによっていろんなことができるようになります。生まれつき（遺伝による）差がないわけではありませんが、上手に身体を動かす能力は生まれてからの経験によるものが大きいと考えられています。

こどもの体力低下が社会的にも取り上げられるようになって久しいですが、スポーツや外遊びに不可欠な“3つの間（時間・空間・仲間）”の減少がその要因として指摘されてきました。さらにコロナ禍によってより一層状況が悪化しました。これらはこどもたちが様々な動作を身に付ける機会も減少させ、運動の上達やケガ回避にも影響したと考えられます。

こどもが楽しく様々な動きを身に付けるための「あそび」は大切な時間だと考えます。大人が専門的な指導をしたり評価したりする必要はなく、そっと見守るあるいは一緒にあそぶことでこどもは自然と基本動作を身につけ、その引き出しを増やしていきます。アスリートからこどもの頃によくあそんだ話を少なからず聞くのは偶然ではないと感じています。